



後藤英鵬 書 (県三)

第 35 号

発行 県立富士宮北高等学校同窓会 北嶺会
静岡県富士宮市宮北町230(北高内) 電話(0544)27-2533(代)

編集 北嶺会広報委員会
印刷 (株)きうちいんさつ



平成 19 年 5 月 広大な北高の姿

2008 北嶺会総会 ご案内

と き:平成20年5月24日(土)

受 付:午後2時

ところ:クリスタルホール・パテオン

総 会:午後3時

会 費:5,000円(女性3,000円)

懇親会:午後4時

ご挨拶

北嶺会会長

西川 恒彦



母校中
央並木の
「さくら」
は、往年
に近い花
を見るま

でになりました。おそらく来
年は最盛期の勢いを取り戻し素
晴らしい桜花になると想われま
す。樹木医から「銀杏を切らな
い限り桜は持たない」と指摘を
受け、ずいぶんと迷った末に決

断した銀杏の伐採でした。
伐採したのは銀杏は、一期生の植
えたものは一本も現存して居ら
ず途中補植したもので、最も古
いもので年輪六十年(一本)で
した。ほとんどが四十五年以
下で、若い物では四十年以内
でした。また、何回か樹頭を
摘めたため幹の芯が腐り空洞化
しており、何時倒れてもおかし
くない状態でした。これは、銀
杏だけでなく楠、ヒマラヤシ

ダーも同様で、クレーンで吊り
下げ鋸を入れたとたん倒木しく
レーン車が持ち上がり横転しそ
うになるなど気を抜けない作業
が続きました。改めて樹頭を摘
める事の危険を認識いたしました。
並木道の植栽場は、アスファ
ルトやコンクリート、砂利、石
などを取除き「根」が呼吸でき
様改良し肥料を施し二十本の江
戸彼岸桜の若木を補植いたしま
した。補植した若木も花を咲か
せみどりを伸ばしています。「も
みじ山」は、昨年の秋には見事
に紅葉し、生徒はじめ先生方、
訪れる人々から「ここに、こん

な大きな紅葉があったのね」
「綺麗ね」と声をかけられま
した。先輩諸兄にはぜひ一度
ご覧いただきたいと思ひます。ま
た、同窓生や在校生の思いの
残る「銀杏」は北側に復活し
百周年には立派な銀杏並木に
したいと計画しています。ご
期待下さい。二〇〇四年六月
からスタートした七周年記
念事業も大詰めを迎え、総会
にはその全てをご報告でき
ると思ひます。多くの方々のご
協力に感謝を申し上げご挨拶
いたします。

体育文化後援会の会費納入のお願い

体育文化後援会

理事長 吉川 武

北嶺会の皆様には、平素より
体育文化後援会に多大な御支援
と御協力を賜り厚くお礼申し上
げます。

今年も桜の季節に新入生を迎
え校内に爽やかな笑顔と、グラ
ンドでは運動部の元気な声が響
き、文化部と共に生き生きと部
活動を行っております。

さて、体育文化後援会の趣旨
は、「北嶺会」の目的でありま
す「静岡県立富士宮北高等学校
の発展を援助する」ことを具体

的に達成するために、北嶺会及
びPTAにより共同して設立さ
れ、生徒の人間形成を重視する
体育・文化諸活動を理解すると
共にその振興を図り、諸般の援
助と協力を行うことを目的に活
動を行っております。

当後援会の活動は、PTAの
皆様からの会費と役員の方々が
地域や自身の出身部活動、職場
等を頼りに東奔西走して会費の
ご協力をお願いし、在校生の部
活動に対し金銭的な支援を行っ

ております。
しかし、会費は役員が今ま
で御協力を頂いた方々を中心
に納入のお願いをしております
が、何分このような経済情勢の
ため会費の確保が十分とは云え
ず助成額の見直しを行って
いる状態です。

そこで、今後の全国高校総体
の開催は遠方が予定されている
こと等から、今までの資金
援助を考え、今般北嶺会の皆様
に創立者望月軍四郎先生の「国
家有用な人材育成」の健学の理
念を体育・文化をとおして、あ
とに続く後輩たちに引き継ぐた
めにも会費納入の御支援を賜り

たくお願いするところでござ
います。

本会の趣旨をご理解いた
さきご賛同いただける方は、左
記の口座に【七月三十一日】ま
でにご入金をお願い致します。

- ・口座名義：富士宮北高等学校
体育文化後援会
 - ・ゆうちょ銀行 口座番号
00820-9-49040
 - ・富士宮信用金庫 北支店 普通預金
口座番号 1052483
 - ・富士信用金庫 富士宮支店 普通預金
口座番号 199856
- 個人年会費：1口3,000円、法人年
会費：1口10,000円以上の御協力
をお願い致します。なお、学校の事務局
でもお受けさせていただきます。

朝霧高原の自然



朝霧乳業株式会社

富士宮市人穴 203-33

TEL(0544)52-0333 FAX(0544)52-0801

NBC 株式会社

代表取締役 社長 西川 恒彦

昭和33年度商業卒

西川商事株式会社

代表取締役 会長 西川 恒彦

昭和33年度商業卒

北嶺会総会と懇親会

平成十九年五月二十七日(日)、十九年度北嶺会総会と懇親会がクリスタルホールパテオンを会場に、大勢の同窓生、恩師の出席のもと盛大に行われました。



校長あいさつ

会長あいさつ

総会風景



幹事あいさつ

乾杯



18年度会計報告

収入の部	
入会金	3,324,000
会費	0
雑収入	610,138
繰越金	3,436,515
合計	7,370,653
支出の部	
事業費	1,280,500
運営費	2,146,110
管理費	361,655
収支剰余金	3,582,388
合計	7,370,653

特別会計

記念品積立金 1,045,017

懇親会



十九年度総会のお礼と感謝

担当幹事 吉澤廣美・藤田晃
(四十五年度卒)

十九年度の「北嶺会」総会には約一六〇名の同窓生に出席していただきまして誠にありがとうございました。総会、主に懇親会幹事は五十五歳になる学年が受け持ちます。普通科、商業科各一名があたりませんが、私たち二人ともに富士市在住で、パーティー券販売が危惧されましたが、役員の皆様、部活の関係者、同級生、四十六年度卒の頑張りや当日券販売によりまして何とか目標枚数をクリアすることができました。感謝いたしております。

約二年前から「北嶺会」の役員会に出席していますが、常々、西川会長、加茂幹事長はじめ役員の方々の熱い思いに接してきまして、この総会、懇親会の幹事を務めることにより、微力ではありますがお力添えになればと思ひ望みました。校歌、北嶺賛歌斉唱時には熱気が会場にみなぎり同窓生がひとつになりました。今年度の総会にも多数の参加をお願いいたします。

今後も部活、勉学などの北嶺館有効利用を通じまして、北高が元気になり、同窓会「北嶺会」が活気づく、ぜひ、そうあってほしいと願っております。

司法書士 行政書士 加茂哲三事務所
(S40年度商卒)

富士宮市大宮町9-7
TEL(0544)27-5599(代)

墓石・設計・施工・販売

三 明 石 材

萩谷嘉彦(昭和44年度卒)

中野嘉彦税理士事務所

税理士 中野嘉彦
(S39年度卒)

〒417-0204 静岡県富士市入山瀬4丁目13番32号
TEL (0545) 71-2194
FAX (0545) 71-2193

北嶺会入会式

二月二十九日、二七四名の卒業生が北嶺会に入会した。
 入会式のあと西川恒彦会長による『腕に職業をつける』と題して講演が行われ、特に母校商業科で学んだ簿記は、卒業後の経営の基礎となった、との話に卒業生が聞き入った。



名誉会長・初代会長 齊藤正翁を悼む

会長 西川 恒彦



去る四月十一日、齊藤正様のご逝去されました。突然の訃報に接し言葉を失いました。ここに、北嶺会を代表して追悼の言葉を捧げます。

齊藤先輩は、母校の第一期生として、昭和十三年四月に入学し、昭和十八年三月に北高の前身、大宮商工学校商業科を卒業されました。在学中は、軍事訓練・学徒動員など激動する昭和を体験した学生時代を過ごされました。

昭和二十九年、同窓会が正式に北嶺会として発足すると初代会長に就任され、昭和四十六年までの十九年の長きに渡り北嶺会の会長を努め、北嶺会の基礎をゆるぎないものにして頂きました。私が齊藤先輩に初めてお逢いしたのは、卒業式の後の「北嶺会」

入会式でした。舞台上立った貴方は「創立者、望月軍四郎先生の『国家有用な人材の育成と、郷土産業の発展』の建学の理念を引き継ぎ『覇気・信念・明朗』の精神と『報恩感謝』の誠を持ってこれからの人生を進め」と話されました。引き締まった体軀からは古武士を思わせる風貌と、剣道部を県下一にした気魄を感じたことを今でも鮮明に記憶しています。開校時の母校の話や、望月軍四郎先生の話しは昨年の十一月二日、母校の創立七十年記念式典と七十周年記念事業に参考にさせて頂きました。齊藤名誉会長から、北嶺会のあとを託された私たちは、母校発展の想いを引き継ぎ、後輩に引き渡して行くことをお誓い申し上げ追悼の言葉と致します。

合掌

同級会 結束の 昭和二十五年度卒

我々が小学校六年から母校の前身である「大宮工業学校」「大宮商業学校」(通称・商工学校)に進学したのは第二次世界大戦も末期に近づいた昭和二十年(一九四五)四月の事だった。日本中が戦事一色に塗りつぶされた中で、梓に嵌め込まれた様な軍隊調の服装を身に付け、上級生の引率で隊列を組んで登校し、途中で先生に逢うと「歩調取れ!佐山先生に:かしら!右!」と軍隊さながらの挨拶を強いられ、時には上級生からの苛めに近い指導に耐えながらも向学心に燃えていた。そしてその夏(八月十五日)に終戦を迎えたのである。生活環境は大きく様変わりを見せ、今までの手かせ足かせが一度に外され、解放されたのはいいが、一体どっちを向いてどう進んだらいいのか、我々生徒は言うまでも無く、教師も戸惑う中でお互いに話し合い、助けあって模索する中で校訓である「覇気・信念・明朗」を貫くしかない日々だった。その遅しかった同期は、クラスメイトと言うよりむしろ「仲間」そのものだ。やがて学制改革が行われて新制高校の誕生と共に高等学校にスライド進学。今までの仲間も他の新制中



湯河原・山荘豊仙にて H19.11.26

学校からの転入生を含め商業科二クラス・機械科・化学科各一クラスに分れて行った。そんな仲間が社会に巣立ってもうすぐ六十年。それぞれが功成り、名を遂げて関東圏で活躍し、同窓会の関東支部(関東北嶺会)に参集し、旧交を温めている。そして我が同期の結束振りは関東北嶺会の会長経験者でもある土橋君を中心に他を圧倒している。それもこれも苦楽をともにした仲間なればこそその間柄で、年に五、六回は集い、杯を交わし励まし合い、仲間を募って春と秋には国内旅行に出掛けるなど「まだまだ若いもんには負けにやアぞ」と老いの坂をお互いに労わりながらゆっくり歩んでいる。そして「北高の仲間であった」と肩を抱き合う同期である。

清酒 白糸

牧野酒造合資会社
 〒418-0114 富士宮市下条1037番地
 TEL 0544-58-1188 S18年度卒 S53年度卒

太陽光発電システム

株式会社 システム・ジャパン
 代表取締役 佐野 哲哉

(S46年度卒)
 富士市久沢3丁目10番10号 ☎0120-0345-11

草野光春税理士事務所

税理士 草野 光春
 (S42年度卒)

富士市永田町1丁目15番地 TEL (0545) 52-4128

『創立七十周年記念誌』 編集にあたって

若月 貴美代

静岡県立富士宮北高等学校の七十周年記念事業の一つとして、『創立七十周年記念誌』を創るという話しを私が最初に知ったのは、平成十六年度末ころ前校長の日野原先生から直接お電話をいただいた時で、富士宮北高校に転勤する一年以上前のことでした。吉原高校での九十周年、沼津西高校と裾野高校での百周年に偶々居合わせた関係で、記念誌編集にも少なからず携わる機会があったのですが、学校によって編集の仕方は実に様々でした。

記念誌編集に当たって一番大切なのは、編集方針。方針が決まったら、部立て。これによって頁数が決まってきます。方針・頁数・必要冊数・必要予算などを仕様書にして各業者に送り、企画書と見積書を出してもらい業者選定をします。同時にタイトルも考え合わせ必要な資料を集め、資料を集めながら記事を起こします。記事に起こす作業には膨大な時間がかかります。時間的な余裕がない場合は、業者に依頼するのも一方法です。

富士宮北高校に転勤した平成

十八年四月から平成十九年九月に『創立七十周年記念誌』が完成するまで、編集委員会（記念誌部会の役員が集まらず、進捗状況が今一つというので小回りの利くものを立ち上げました）を二十五回重ね作業を進めました。並木会による座談会や航空写真撮影、原稿校正作業等が印象に深く残っています。編集委員は、北嶺会の市川緑さんと木内久仁彦さん、宮北教諭の伏見静夫先生、静岡新聞社の大滝成治さん、創碧社の鈴木将仁さん、

「富士宮北高校七十周年 記念誌編集を終えて」

伏見 静夫

平成十六年五月に、第一回記念誌編集委員会が開催され、市川緑さんをはじめとする北嶺会理事の方々と、北高教員の編集委員が参集した。しかしそこでは具体的な話はできなく次の開催日を決めるにとどまったが、ひとまず編集委員会が動き始めた。

そこから平成十九年九月の最終原稿校了までは、大きく二つのステージに分けることができる。平成十八年四月の若月教頭赴任の前と後である。前段は記念誌編集方針の討議と資料集めで終わり、後段でやっと本来の記念誌編集作業

アドバイザーとして元宮北校長の吉田廉先生、宮北教頭の若月貴美代の計七人でした。大変なこともありましたが、編集委員が一丸となつて幾つもの壁を乗り越え、今は楽しい思い出ばかりが脳裏に浮かびます。記念誌カバー裏の『富士宮北高』は「や、編集後記の一部分を書けたこと、平成二十年度入学生に記念品として配付できたことも嬉しく思いました。お世話になつた多くの方々に深く感謝しています。

に取り組むことができた。

記念誌編集方針として次の二点が決定された。①百周年記念誌の繋ぎとなるように、写真よりも文章で綴る「記念史」とする。②創立から県立移管までを第一章として、他より多くのスペースを使う。

月一回の資料集めは、まさに牛歩であった。十周年記念誌、三十分周年記念誌、五十周年記念誌、武者小路実篤著「望月軍四郎伝」を読むことからはじめ、歴代のアルバムや生徒会誌、学校新聞、後援会新聞の中から記事になりそうなものを探し附箋を付けていった。一方、学校要覧から年間行事を年度ごとの表にして、記事になりそうなものを書き出していった。そういった作業の中で、本校が創立から県立移管までの間にいかに時

代の波に翻弄され続けてきたかを、永久保存してある創立当時の学籍簿等からその一端を見ることができ、戦後生まれの私にとつて大きな衝撃を受けた。戦争がいかに教育を蹂躪するものであるかを、後世に伝えていかねばならぬと思い、この編集の仕事が私自身にとつても大切なことであると確信した。そういった地道な作業が続いていた年度末に、記念誌編集の達人若月教頭が本校に赴任されることを知ったときには、思わずホツとして胸をなで下ろしたのを覚えている。

五月には、北嶺会が静岡新聞社に記念誌作成を発注し、具体的な編集作業に入つていった。それからは、毎月一回の編集会議を重ねる度に記念誌像が現れてきた。私の印象深い作業では、教員OBとの座談会、生徒会長小塚さんデザインの人文字空中撮影、小雨の中での部活写真撮影をあげる事ができる。何はともあれ、すてきな表紙に包まれたこの記念誌の編集は、私の教員生活の締めくくりともなりました。市川さん、木内さん、静岡新聞社の皆さん、若月教頭のおかげでいつも楽しく仕事ができました。ありがとうございました。

朝霧ヨーグル豚使用
手作りのハム・ソーセージ

朝霧ハム株式会社

富士宮市北山 835 番地
TEL 0544-58-7786
FAX 0544-58-7791

コロッケ・シヨウ 蝶々園

本店 〒418-0066 静岡県富士宮市大宮町 25-4
TEL 0544-56-2232
FAX 0544-23-3909

北町ヴィラ・ノート店 (富士宮市北町)
TEL・FAX 0544-23-8711

蕎麦割烹 志は川本店

塩川達明 (S.51年度卒)

〒418-0056 静岡県富士宮市西町5番地5号
電話 (0544) 27-3363 FAX (0544) 27-3364
携帯 090-8674-8907
http://www.shihokawa.com E-mail:soba@shihokawa.com

関東北嶺会だより

第三十三回・親睦会・墓参のお誘い

関東北嶺会会長 須藤 哲志



関東北嶺会に、いつもご支援いただき誠に

ありがとうございます。

昨年は、創立七十周年記念事業の北嶺館建設・桜並木道整備募金に多大なご協力いただき感謝申し上げます。お蔭様で、多くの方々から母校・故郷に思いをよせ地元に残らないご協力を賜りありがとうございます。

富士宮文化会館で行われた式典には在校生八百人のほか、同窓関係者、来賓ら千二百余人、関東からは有志十二名が参加しました。

式典最後に、早大「都の西北」の作詞者・馬御風泉先生の作詞、著名な軍楽隊長・辻先生が作曲された校歌「玲瓏高き富士の嶺」を斉唱し、第二部、里見浩太郎氏記念公演「俳優人生を語る」に移りました。

さて、本年も関東支部では六月二十九日(日)に親睦会及び創立者・望月軍四郎先生の青山墓地を墓参する運びとなりご案内

内いたします。

今回、多くの皆様のご希望により、参加しやすい日曜日に銀座のホテルで食事を楽しまながらの開催となります。

早いもので四年前、伝統ある関東支部の幹事を、昭和三十五



三十六年卒業生で勤めのかたわら、母校への感謝の思いと皆様方にお役立ちしたく引き受けました。卒業生も多い時は千百余名、その後転勤・帰郷等その他の事情で七百余名になりました

が、今後、進学等で若干名増加が望めます。そこで改

めて会員諸氏に呼びかけます。同窓生諸氏、これを機に関東北嶺会に結集し故郷を語りませんか。気兼ねする殺伐とした社会、そんな

時こそ同窓の仲間と一同に会し、懐かしい「玲瓏高き富士の嶺」校歌を歌い心を和ませるの必要です。人生次へのステップ・「人生の二次会」にと青春を思い出すのもよし。幅広い年代層が集うだけに、故郷の懐かしさがつのりいつまでも話がつきません。永年勤め退職した人・現役真つ盛りの人・女性・学生の皆様、故郷を思い語り合うだけで気持ちが落ちつき

墓参のご案内

●創立者望月軍四郎翁の墓参

日時：6月29日(日) 午前10時15分(雨天決行)
場所：青山墓地管理事務所前(赤坂消防署の脇)
最寄駅：銀座線外苑前駅徒歩七分
墓参後、自費で会場へ移動

●親睦会と年次報告

日時：6月29日(日) 午前11時30集合
会場名：ホテル銀座ラフィナート
場所：中央区銀座1126-1
電話：03-3561-0777
最寄駅：JR有楽町駅、徒歩13分
・地下鉄銀座線京橋駅一番出口から徒歩6分
・都営浅草線宝町一番出口から徒歩1分

●会費：男性6,500円 女性5,000円 学生1,500円
問合せ先 遠藤幹事長携帯電話(お気軽に)
090-1998-5047

団体と結束し取り組んで参りますのでご支援をお願いする次第です。故郷を訪ねたおり、統廃合で母校が無くなったなど考えたありません。この機会に、青山墓地墓参に行きませんか。ここは創立者が眠るのに相応しく、名将・乃木大将の墓に隣接し威風堂々と偉大さを感じます。当日、お時間の都合等で墓参出来ない方は直接銀座の会場でお会いしましょう。なお、予算の関係で案内状をお送り出来ない場合がありますので面倒ですがお気軽に幹事長までご連絡ください。

—アニマルメディカルセンター—

病院長 渡辺 泰章

(43年度普通科卒)

CTスキャナーを揃えた日本で一番大きい動物病院
神奈川県川崎市中原区新丸子2-890-10

—創立71周年さらなる躍進を—

診療放射線技師・臨床実習指導教員

川原崎幸雄

(35年度普通科卒)

富士宮市小泉(富士根南中卒)
神奈川県相模原市相武台1-4-4

関東支部、母校をかたる親睦会

6月29日(日)

関東支部お世話係の紹介

28年卒 若林 貞雄 29年卒 押切喜代子(婦人部長)
30年卒 宇佐美一雄 33年卒 藤巻 一雄
35年卒 川原崎幸雄 36年卒 清常雄・吉田秀一
43年卒 渡辺 泰章
代表お世話役 36年卒 遠藤 隆鉦(柚野中卒)

北高だより

新教頭あいさつ



高村 富士郎

四月一日、西野前教頭の後任として吉原高校

より着任いたしました。着任後、まずしたことは、キャンパスを散策しながら隅々をカメラに収めることでした。春休み中なので、生徒の姿はまばらで、その分ますますキャンパスが広く感じられました。

雄大な富士山に見守られ、広大なキャンパスの中、四季折々の豊

新事務長あいさつ



兼高まり子

この度の人事異動により、伊賀上事務長の後

任として赴任いたしました。

東部地区勤務は初めてで不安な気持ちいっぱい私の私を、雄大な富士山と見事な桜並木、そして元気に挨拶してくれる生徒たちが迎えてくれました。

富士宮北高校には十五年ほど前に一度おじやまをしたことがあ

かな樹木に囲まれて三年間を過ごす北高生は、必ずや心寛く心豊かな大人に成長することと確信いたしました。

文芸評論家の亀井勝一郎は、「作家は処女作に向かって成熟し永遠に帰する」という名言を残しましたが、それに倣えば「教員は初任校に向かって成熟し永遠に帰する」ことになりません。初任校時代の教育への理想と実践を思い起こし、七校目にして最後の教員生活となる本校において有終の美を飾りたいと、中央道の桜並木を歩きながら考えました。

り、中央の並木道を見てすごい学校があるなどびっくりした記憶があります。

今、学校では校長先生がたてられる学校経営計画に沿って学校経営がされています。事務室も限られた予算を学校経営計画に基づき、条例・規則に則って、効率的執行していくことが求められています。校長先生の思い描かれる北高像に少しでも近づけるよう、皆様のお力添えをいただきながら職務に精励する所存です。どうぞよろしく願います。

平成十九年度の進学状況報告

大学進学

国公立大学については、平成十七年度から推薦入試の活用・地方大学受験の拡大により合格者の増加を図ってきました。その結果、三年連続して合格者数が二桁となりました。

私立大学については、予想以上に易化が進み、推薦に依存しなくても実力で合格を勝ちとることが、可能な状況になりました。

- 国公立大学 13名
 - 静岡大(5) 岩手大 山梨大 信州大 山口大 北海道教育大 大阪市立大 都留文化大 公立はこ
- だて未来大
- 私立大学 100名
 - 神奈川大(6) 東海大(5) 富士常葉大(5) 常葉学園大(4) 日本大(4) 京都橘大(3) 中京大(3) 鎌倉女子大(3) 花園大(2) 関東学院大(2) 桐蔭横浜大(2) 健康科学大(2) 国土館大(2) 実践女子大(2) 神奈川工科大(2) 聖霊クリストファー大(2) 千葉工業大(2) 拓殖大(2) 東京経済大(2) 東京農業大(2) 東京福祉大(2) 日本福祉大(2) 明治大(2) 愛知学泉大 工学院大 国際武道大 山梨学院 静岡英和

- 学院大 静岡産業大 静岡福祉大
- 千葉商科大 創価大 大東文化大
- 帝京大 東京女子医科大 東京薬科大 武蔵工業大 文教大 法政大 名古屋経済大 名古屋商科大 立正大 他

短大・専門学校進学

例年と同様に、県内の学校への進学者が多くを占めました。また、資格取得を最優先して学校を選ぶ傾向が顕著になっています。

- 公立短大 2名
 - 静岡県立大短(2)
- 私立短大 19名
 - 常葉学園短(7) 日本大短(3) 東海大短(2) 小田原女子短 湘北短 神戸女子短 他
- 専門学校 91名
 - 大原法律公務員(5) 富士市立看護(4) 沼津情報(4) 大原情報ビジネス(4) 中央歯科衛生士(3) 湘南医療福祉(2) 静岡医療学園(2) トヨタ東京整備(2) ホンダテクニカルカレッジ(2) 高山理美容(2) 山野美容(2) 静岡デザイン(2) 静岡県理美容(2) 静岡工科大学(2) 東京法律(2) 静岡医療センター付属 静岡看護静岡県立東部看護 大原簿記浜松調理製菓 日本電子 他

創ります "夢あるあした"

富士宮信用金庫

<http://www.miyashin.co.jp>

都市近代化事業協同組合(東京)

全国一律単価ガソリンカード(法人専用)
エネオス・JOMO・U1(出光・宇佐美共用)
エクソンモービル・鈴与カード
ETCコーポカード(割引の大きい法人専用)

お問合わせ先 03-5272-5090 遠藤(36年度卒)

車いすサポート

東京ハイヤー有限会社

代表取締役 須藤 哲志
(35年度普通科卒)
富士市岩本(岩松中卒)
東京都大田区久が原 4-14-11・03-5747-1413

平成十九年度の 就職状況報告

平成十九年度も、製造業を中心として景気の拡大が続き、また二〇〇七年問題による定年退職者増を見込んでの採用増もあり、就職を希望する高校生の就職環境には良いものがありました。各企業とも良い人材を確保するための選考試験は依然厳しいものがあります。そんな中、本校では入社試験開始(九月十六日)後わずか二ヶ月で学校紹介により希望した生徒全員の内定をいただくことができました。これも三年間生徒が高い目標を持ち、日々継続して努力を積み重ねて、資格取得にも良く努力し独自の付加価値を身につけることができた結果の表れであるとともに、多くの方々のご指導をいただいたお陰であると心より感謝とお礼を申し上げます。

本年度も全職員一丸となって就職指導に取り組んでまいりますので、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

内定者の科別内訳

商業科	男子	二十七名
	女子	二十九名
合計		五十六名
普通科	男子	十名
	女子	二名
合計		十二名



運動部

- 《男子ソフトテニス部》
- ・全国高校総体出場
 - 団体戦 2回戦進出
 - 吉田悠人・遠藤義典・宮島勇樹・望月敬太・細畑一徳・荻海人・山口昌也・山城康平・嘉数俊樹・山中剛・後藤善太
 - 個人戦
 - (ベスト32) 宮島勇樹・望月敬太組
 - (ベスト32) 吉田悠人・遠藤義典組
- 《女子ソフトテニス部》
- ・全国高校総体出場
 - 村松佳奈・小熊真理・岡田愛・石川真衣
 - ・国民体育大会出場
 - 村松佳奈・小熊真理
 - ・第62回天皇賜杯・皇后賜杯
 - 全日本選手権大会出場
 - 村松佳奈・小熊真理
- 《相撲部》
- ・全国金沢大会 団体出場
 - ・全国十和田大会 団体出場
- 《女子バドミントン》
- ・東海高校総体出場
 - 団体戦
 - 望月香奈・佐野早友未・佐野里沙・太田川紗希・佐野友紀・澤井瞳・渡邊沙織
 - ・東海高校選手権大会出場

部活動報告

今回は全国大会・東海大会出場を掲載いたしました。県大会等についてはホームページをご覧ください。

主な就職先

東京電力・テルモ・トヨタ自動車・小野薬品工業・ジャスコ・エンチョー・富士写真フイルム・富士セラミックス・富士信用金庫・日本プラスト・明星産商・JR東海・アマダ・高木産業・リコー沼津・サンカプセル・明和・高尾製紙・朝霧高原開発・エリエール・曙ブレーキ・ノジマ・医療法人顕正会・ピヨンス・玉吉製作所・日本軽金属・図書印刷・ミスバラエティー・ビック富士・リゾートトラスト・大宮精機・富士宮芝川消防・静岡県警察 等

文化部

- 《簿記・珠算部》
- ・第29回 東海地区高等学校商業実務総合競技大会 計算事務の部 出場
- 宮北ホームページアドレス
<http://www.fkn.ed.jp>



- 個人戦
- (ダブルス)
- 太田川紗希・佐野友紀
 - (シングル) 佐野友紀
- ・東海高校新人大会出場
- 団体戦
- 高山夏実・太田川紗希・佐野友紀・澤井瞳・渡邊沙織・小池璃穂・高井里美
- 《弓道部》
- ・東海高校総体出場
 - 個人戦 (男子) 西嶋雄太
 - (女子) 石川翠
 - ・全国高校総体出場
 - 片田智也 富士宮神能 深澤一樹 清亮輔 諫山基井 西嶋雄太

早い 便利 安い

オンデマンド印刷をご利用ください。

手塚にかけた製品をおとどける

株式会社 **きうちいんさつ**

■本社・工場 〒418-0015 富士宮市舞々木町70
TEL 0544-27-4055(代) FAX 0544-24-2321
E-mail: kiuchi@crocus.ocn.ne.jp

・・・大自然を満喫して・・・

「道の駅」朝霧高原

富士宮市根原字宝山 492-14
TEL0544-52-2230 FAX0544-52-2238
<http://www.asagiri-kogen.com/>

富士宮光郵便局

局長 高山政明
(S42年度卒)

富士宮市光町15-21 TEL(0544)27-4937